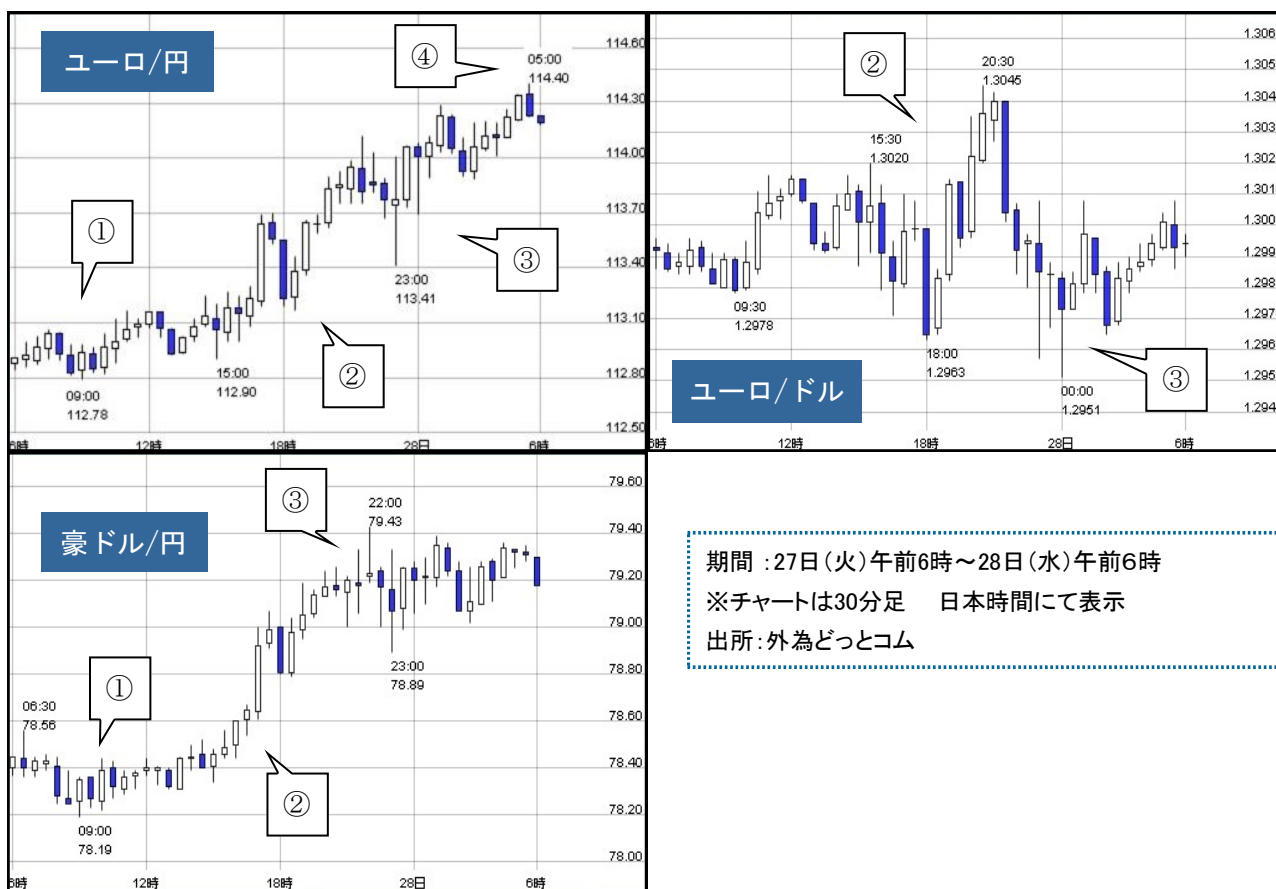


7月28日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

リスクを積極的に取る機運が高まる

27日(火)の主な推移



期間：27日(火)午前6時～28日(水)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 小高く始まった日経平均株価が軟調に推移したことにより、クロス円も軟調な展開となり、ユーロ/円は112.78円、豪ドル/円は78.19円までそれぞれ下げた。
- ② ドイツ銀行やスイスの金融大手UBSの好調な企業決算を背景に、欧州株や時間外のダウ平均先物が上昇したことにより、市場ではリスクを積極的に取る動きへとつながると、ユーロ/円や豪ドル/円は反発に転じた。またその後ユーロ/ドルは今年20日高値1.3029ドルを上抜けたことで上値を試す機運が高まり、一時5月10日以来となる高値1.3045ドルを記録した。
- ③ 22時に発表された米ケース&シラー住宅価格指数が市場予想を上回る結果となり、ドル/円が上昇したことに伴い、豪ドル/円は6月22日以来となる79.43円まで上昇した。しかしその後発表された米消費者信頼感指数が市場予想を下回る結果となり、ユーロ/円や豪ドル/円は弱含む場面が見られた。またユーロ/ドルはこの結果を受けた米株下落に伴い、24時過ぎには1.2951ドルまで押し戻された。
- ④ ドル/円にて88円の節目の突破を試す機運が高まったことに伴い、ユーロ円も5月18日以来となる高値114.40円を記録した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2890-1.3080ドル
ユーロ/円 : 113.50-114.80円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 78.70-80.30円

昨日は欧州金融機関の相次ぐ好調な企業決算に加え、独経済指標が市場予想を上回る結果となり、欧州株の上昇により市場ではリスクを積極的に取る動きへとつながり、ユーロは特に対円では大きく上昇した。本日もこの傾向は続くと思われる。主要国の株価動向に左右されやすい展開が予想される。

本日はポルトガル国債の入札が予定されている。今週に入り市場ではリスクに対して積極的となる姿勢が鮮明となっており、今回の国債入札は無難な結果となることが予想される。しかし入札が不調に終わった場合、再びユーロに対する不安が蒸し返され、ユーロが軟調となることも考えられるだけに気をつけたい。(川畑)

本日は豪第2四半期消費者物価指数の発表が予定されており、市場では豪準備銀行(RBA)の8月利上げの可能性を占う上で高い関心が集まっている。仮にRBAが目標としている、2~3%のインフレ率を上ブレするようだと、市場では利上げ期待が高まり、豪ドル/円が買われる展開が予想される。一方でRBA議事録にて指摘された2.5%を下回る場合、豪ドル売りが強まることも想定される。

また昨日は欧米での株高と相まって、リスクを積極的に取る動きへとつながり、豪ドル/円も連れて上昇したことから、引き続き主要国の株価にも注目したい。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/28(水)	10:30	◎	(豪) 第2四半期消費者物価 [前期比]	+0.9%	+1.0%
	10:30	◎	(豪) 第2四半期消費者物価 [前年比]	+2.9%	+3.4%
	18:30		(ユーロ圏)ポルトガル国債入札(4年債、13年債)	—	—
	21:30	○	(米) 6月耐久財受注 [前月比]	-1.1%	+1.0%
	26:00		(米) 5年国債入札(370億ドル)	—	—
	27:00	○	(米) 米地区連銀経済報告(ページブック)	—	—
	未定		(独) 7月消費者物価指数・速報 [前年比]	+0.9%	+1.2%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。